

告示 2023年8月21日 **臨時党大会** **9月2日** 国民民主党 代表選挙 **選挙公報**



国民民主党 **代表選挙**

候補 【たまき・ゆういちろう】

玉木雄一郎

3人兄弟の長男として、香川県大川郡寒川町の兼業農家に生まれる。県立高松高校、東大法学部卒。1993年大蔵省入省。05年衆院選に挑戦するも落選。09年初当選、現在5期目。趣味はカラオケ、ギター、ピアノ。



特設ページ <https://new-kokumin.jp/daihyo2023>

候補 【まえはら・せいじ】

前原 誠司

1962年生 京大法卒
松下政経塾、京都府議を経て1993年衆議院初当選(連続10期)
民主党代表、国交、外務、国家戦略、内閣府特命担当大臣、民進党代表等を歴任
現在、党代表代行・安全保障調査会会長

代表選挙の仕組み



概要

- 国民民主党代表選挙は、有権者の投票により、各候補者が有権者の種別ごとに定められたポイント数の獲得を競い、その合計で多数を得た代表候補者が当選者となります。
- 一般党员・サポーターと地方自治体議員党員の投票は、各候補者の得票数にもとづいてドント方式でポイント进行分配します。
- 一般党员・サポーターと地方自治体議員党員の郵便投票(または電子投票)により分配される各候補者の獲得ポイント数と、2023年9月2日(土)の臨時党大会での国会議員・候補予定者の直接投票による各候補者の獲得ポイント数の合計により、国民民主党の新代表が決定されます。

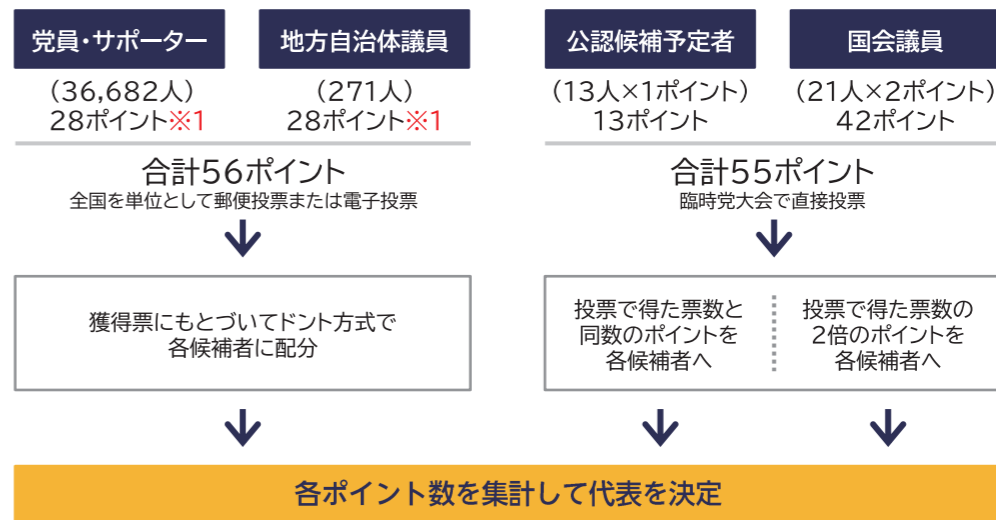
ドント方式とは

各候補の総得票数を1、2、3、…と整数で割っていき、得られた「商」の大きい順にポイント进行分配する方式です。

例：候補者が2人で、合計ポイントが7の場合のポイント分配

候補者数	A	B
総得票数	1000	600
÷1	①1000	②600
÷2	③500	⑤300
÷3	④333.3	⑦200
÷4	⑥250	150
獲得ポイント	4	3

投票の流れ



- 党员の得票数はサポーターの倍とする。(党员2 : サポーター1)
- ※1 (国会議員ポイント+公認候補予定者ポイント) × 1/2。なお小数点以下は切り上げる。

日本の「大転換」のために、政策本位で野党結集を進め、政権交代への道筋を作ります。

このたび、私は国民民主党代表選挙への立候補を決意いたしました。私は、国民民主党、野党、そして日本の現状に危機感を持っています。特に国民民主党の現状を考えたとき、前回の参議院選挙で2名の議席を失い、2%程度の政党支持率が続くなど、与野党超えての是々非々路線が結果として、自民党を利する結果になってしまっています。

民主主義は、政権の選択肢がなければなりません。日本の凋落が止まらない中、自民党に代わる「中道保守の改革勢力」が結集して政権交代を果たし、日本の「大転換」を果たさなければならないの思いは強くなる一方です。今こそ「政策本位で『非自民・非共産』の野党協力・野党結集を進め、政権交代への道筋を作りたい」と思います。

今回、私は将来の社会像を示し、政策の軸を立て、党の目指すべき方向を明らかにします。日本を変えるために、国民民主党を、野党を強くしなければなりません。

これまで三十年間にわたり、国政の場において経験させて頂いた全てを懸け、このたびの代表選挙に臨ませて頂く覚悟です。

私、前原誠司への力強いご支援とご指導ご鞭撻を衷心よりお願い申し上げます、決意のご挨拶とさせていただきます。



前原 誠司

まえはら せいじ

- 基本姿勢**
1. 自民党と対峙する、政権交代を目指す改革政党としての、国民民主党の立場を明確にします。
 2. 「All for All」の理念のもと、今の「自己責任型の社会」とは異なる新たな将来の社会像を明確に示します。
 3. 国民民主党の立場と目指す社会像を明確にしたうえで、選挙での全候補者の当選に向けて徹底的に取り組み、国民に期待される国民民主党を作ります。
 4. 政策本位で『非自民・非共産』の野党協力・野党結集を進め、政権交代への道筋を作ります。

- 基本理念**
1. 繁栄を通じて平和と幸福を追求します。
 2. 勤労者、消費者、生活者、納税者の立場に立った政治を行います。
 3. 「All for All (みんながみんなのために)」の理念の下、ベーシックサービスの充実を通じて、安心社会を実現します。

基本政策

「All for All(みんながみんなのために)」

「All for All (みんながみんなのために)」の理念の下、ベーシックサービスの充実を通じて、安心社会を実現します。負担と受益の関係を明確にして、財源論にも正面から取り組み、将来世代への責任を果たす政治を行います。

人づくりこそ国づくり

少なくとも教育予算を倍増し、「教育の無償化」「奨学金の返済免除」を実現します。

給料を上げる

最低賃金の引き上げ、いわゆる「年収の壁」の解消、リカレント教育・リスキリングなどの公的支援を充実させるなど、賃金アップにつながる政策を実行します。

自分の国は自分で守る

自衛力の強化に加え、エネルギー自給率と食料自給率の向上で、安全保障を推進します。

- ▶ エネルギー自給率の向上とカーボンニュートラルを見据えたエネルギーのベストミックスを追求します。
- ▶ 防災・災害対策を進め、自然災害に強い国土形成を目指します。
- ▶ 農家への戸別所得補償制度を復活させるなど、食料自給率の向上に努めます。
- ▶ 憲法改正を実現させます(まずは緊急事態条項の創設)。
- ▶ 国会議員定数の少なくとも2割を削減します。
- ▶ 消費税の軽減税率及びインボイス制度は廃止し、新たに給付付き税額控除制度を創設します。
- ▶ 外国為替資金特別会計(外為特会)の一部基金化など、政府資産(GPIFや大学ファンド)の運用強化を図り、新たな財源論に一石を投じます。
- ▶ 教育、就職、賃金、経営、政治参加など、あらゆるライフステージと政策における男女格差をなくします。



1962年生まれ 京都大学法学部卒(国際政治 高坂正典ゼミ)
 松下政経塾、京都府議を経て1993年 第40回衆議院議員総選挙初当選(連続10期)
 民主党代表、国交相、外務相、国家戦略担当相、内閣府特命担当相、民進党代表等を歴任
 現在、党代表代行・安全保障調査会会長。

※候補者の届け出順で、提出された原稿をそのまま掲載しております。

停滞する日本を動かすために。

対決より 解決



基本姿勢

- 国民民主党は国会議員だけの政党ではない。他党との合流などに安易に頼らず、国民民主党を国民民主党として強く大きくしていく。
- 「対決より解決」、「政策先導型政党」の姿勢で、公約を一つ一つ実現につなげていく。
- 大型国政選挙ごとに比例票の2割増一次の衆院選で380万票、次の参院選で460万票を獲得し、キャスティングボート(決定権)を握る政治勢力に成長させる。
- 穏健な多党制による政権交代のある政治体制をめざす。

- 入党を促す。「全国一斉街頭演説」を行うなど党勢拡大に向けた日常活動を強化する。
- 介護や医療など生活に密着したテーマに地方自治体議員による専門チームを創設し、政策提言に活かす。
- 党員・サポーターが党執行部に対して直接政策やアイデアを提案できるシステムを整備し、一定数が集まった提案は政調等で議論する。
- 略称や党名のあり方を党員・サポーターの意見も聞いて検討する。

- 予定した以上の税収や基金運用益があることから、賃上げにマイナスとなる増税や控除の廃止、社会保険料アップはしない。
- 賃上げの副作用をなくするため、児童手当や障害児福祉の所得制限を撤廃し「年収の壁」問題を解消する。
- 「教育国債」で子育てや教育・科学技術予算をすぐに倍増させる。高校までの教育完全無償化と給付型奨学金の対象を大幅に拡大する。
- 「若者免税」(30歳以下の所得税・住民税を免除)を創設し、大学生の奨学金負担を減らし、高卒等で働く若者もサポートする。
- 認知症治療薬の早期承認や検査拡充など認知症対策を強化し、介護離職をなくす。

主な政策

- 「給料が上がる経済の実現」「人づくりこそ国づくり」「自分の国は自分で守る」の3本柱を党の基本政策とする。
- 来年の春闘で4%程度の賃上げ実現に最優先で取り組む。特に中小企業や非正規にも賃上げの流れを広げる。

党運営の改革

- 地方選に積極的に候補者を立てるとともに産別組織内を含む無所属議員に

政見の全文は「たまき雄一郎オフィシャルサイト」でご覧いただけます。
<https://www.tamakinet.jp/news/7387/>

国民民主党を、強く、大きくする。

2023 国民民主党代表選挙 候補者

玉木雄一郎



■ 生年月日: 昭和44(1969)年5月1日生まれ・54歳・酉年・O型 ■ 出身地: 香川県大川郡寒川町(現さぬき市) ■ 家族: 祖母、両親、妻、息子(大学生) ■ 座右の銘: 一所懸命・念ずれば花開く ■ 趣味: カラオケ、ギター、ピアノ
 兼業農家の長男として香川県の農村で生まれる。県立高松高校卒業後、東京大学法学部へ進学。陸上部で10種競技に打ち込む。1993年大蔵省(現財務省)入省。留学先の米ハーバード大学大学院で政治学を学ぶ。05年、投票日の1ヶ月前に退職し衆議院に香川2区から挑戦するも落選、4年間の浪人生活を経て09年初当選、現在5期め。

※候補者の届け出順で、提出された原稿をそのまま掲載しております。